

7月 8日 ヨリ上映 新宿スカラ座



世界一のシネアスト
チャップリンが描く
ロマンチックコメディ!

テクニカラー

CHARLES CHAPLIN PRESENTS
MARLON BRANDO SOPHIA LOREN
A COUNTESS FROM HONG KONG
TECHNICOLOR also starring
SYDNEY CHAPLIN, TIPPI HEDREN
with PATRICK CARGILL

*監督*脚色*作曲 チャールズ・チャップリン
マーロン・ブランド ■ ソフィア・ローレン 主演

伯爵夫人

シドニー・チャップリン / ティッピー・ヘドレン / ジェラルディン・チャップリン



日本ユニヴァーサル映画

*解説

「ニューヨークの王様」以来、10年ぶりにカムバックしたチャールズ・チャップリンの最新作。66年早々にスタートしてから、チャップリンの骨折事故もあり、ファンの気をもませながら一年がかりで完成した彼にとって81本目の話題作である。

私は芸術を司るミューズの神々の下僕ですから神々が「この怠け者め！また仕事に取りかかれ」と云われれば、私はすぐ仕事に戻ります」とチャップリンはカムバックの動機を語っているが、彼が「伯爵夫人」の映画化を思い立った直接の動機は、ソフィア・ローレンの「昨日・今日・明日」を見たためだと云う。

ローレンの喜劇的な才能に惚れ込んだチャップリンは、数十年前からあたためていたプロットをひきだし、彼女を念頭において書き直したのがこの「伯爵夫人」のストーリーである。彼がソフィア・ローレン、マロン・ブランドのような大スターを使うのはもちろん初めてであり、色彩映画を撮るのも最初である。

出演者はマロン・ブランド（波止場）、ソフィア・ローレン（ふたりの女）、マーガレット・ラザフォード（予期せぬ出来事）のオスカー・トリオの他、「鳥」のティッピー・ヘドレン、それにチャップリンの息子ジドニー、娘のジェラルディン（21才）、ジョセフィン（18才）、ピクトリア（16才）の子供達という豪華キャストを揃えている。

山高帽にダブダブのズボン、ドタグツにステッキというチャップリンのトレード・マークは見られないが、彼自身も酔っぱらいの船員役で特別出演し、製作、監督、原作、音楽など、相変わらず多才ぶりを見せている。

尚、ローレンの衣裳をクリスチャン・ディオールが担当しているのも、チャップリンの彼女に対する気づかいがうかがわれて興味深いものがある。

*梗概にかえて

香港、神戸、ホノルル経由で米国へ向う豪

華客船の船客で若い米国人の金持、オグデン・メアーズ（マロン・ブランド）は親友ハーヴェイ（シドニー・チャップリン）と一緒に旅をしているのだが退屈しきっていた。船が香港に碇泊中、オグデンは白系ロシアの伯爵夫人と称する若い女と一夜、遊びまわって楽しすぎたが、翌朝、自分の豪華船室で目をさますと衣裳ダンスにみまわられている彼女を見つけた。

勿論、大いに腹をたてたが、彼女と話している中に密航するこの女を助けてかくまってしまうのも退屈しのぎにはいい遊びと思うようになった。そこで船の広間から寝室へ、寝室から浴室へ、それに時としては再び衣裳ダンスに身をひそめさせる「鬼ごっこ」が始まった。見ている方は此の大騒ぎに呆気にとられる。

九年間の沈黙の後、サウンド・ステージにチャップリンを引き戻した「伯爵夫人」が始まるわけだ。

この映画で彼は原作、監督、そして作曲も担当している。

久しぶりで特殊な独創性を発揮するチャップリンは「伯爵夫人」に数々の「はじめ」のこをやってのけている。

まず最初に彼にとっては初めてのテクニカラー映画である。

既成スター、名声を長く確保しているスター（マロン・ブランド、ソフィア・ローレン）を使つたが、これも彼としては初めてでいままでは無名の新人を起用して一作によって大スターにした。

一九一九年、（チャップリンがメリー・ピックフォード、ダグラス・フェアバンクス・D・W・グリフィスとユナイテッド・アーチスト結成）以来、他の会社の指揮下で映画を作つたのは、これが彼としては初めてのこ

とだ。

長い映画経歴の中で彼が製作した映画の中で主演しない（船室付き給仕として、ちょっぴり顔を出す）映画である（例外は一九三三年の「巴里の女性」）

にもかかわらずチャップリンは、この映画の構想を既に「独裁者」製作当時から、頭脳

の中であたためていた。

ブランドとソフィア・ローレンが主演者ではあるが、彼等の動きのはしほしにチャップリンのミミック（物真似風）の伝統的な「芸風」が彼等の凡ての動きに判然と表現されている。

おかしき、ユーモア、幻想が哀愁と織りまぜられているのがチャップリンの「伯爵夫人」である。彼の他の映画と同じく作品のテーマとリズムが律動的に、ギャグの完全な支配と共に調和し、凡ての演技のいろいろな事実と表現をチャップリンが、まったく掌握しきっていることは、映画界が最大のタレント、最高の映画芸術の創造者とする所以である。

スタッフ

原作・監督・音楽…チャールズ・チャップリン
製作……………ジェローム・エプスタイン
撮影(テクニカラー)…アーサー・イベットソン
録音……………マイケル・ホブキンズ

キャスト

オグデン……………マロン・ブランド
ナターシャ……………ソフィア・ローレン
ハーヴェイ……………シドニー・チャップリン
ハドソン……………パトリック・カーギル
ジョン・フェリックス……………マイケル・メドイン
社交界の娘……………アンジェラ・スコウラー
ゴールスワロー……………マーガレット・ラザフォード
老給仕……………チャールズ・チャップリン
特別出演 ジェラルディン・チャップリン
ジョセフィン・チャップリン

テクニカラー
(上映時間/2時間)

伯爵夫人

CHARLES CHAPLIN PRESENTS
MARLON BRANDO SOPHIA LOREN
A COUNTESS FROM HONG KONG
TECHNICOLOR also starring
SYDNEY CHAPLIN, TIPPI HEDREN
With PATRICK CARGILL

